

平成29年度

学校自己評価表（計画）

学校運営計画			
学校運営方針		教育目標である「自主自律の精神を持った個性豊かな人間形成」の実現に向けて、次の3点を柱として計画を進める。 ○基礎学力・基本技能の定着、専門的な知識・技能の習得 ○豊かな「教養、人間性、社会性」を育てる全人的教育の実践 ○確かな職業観・勤労観を育てるキャリア教育の実践	
昨年度の成果と課題		年度の重点目標	具体的目標
【成果】 ○朝学習を実施し、学習習慣の定着と授業環境の改善を図った。  ○地域と連携をしたキャリア教育の仕組みを実践研究し、中・高の連携した指導の体制づくりを推進した。  ○生徒指導全般において基本的な生活習慣等が定着するよう、継続して指導を行っていった。  【課題】 ●キャリア教育と教科指導の充実を図り、それぞれの進路に応じた選択ができるよう、工夫していく必要がある。  ●規範意識と公共心の醸成を図り、社会が求める人材の育成に取り組む。	本校の特色を生かした教育課程の編成・実施を工夫し、基礎学力と自己学習力の向上を図る。	・生徒の実態に即した教育課程の編成 ・個性を生かせる教育課程の編成 ・学習指導体制の工夫、改善 ・基礎学力の伸長、定着 ・教科内研究活動の推進	
	規律ある学校生活の中で基本的生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図る。	・基本的生活習慣の確立のための指導の充実 ・健康管理・教育の充実 ・防災・安全指導の徹底 ・環境衛生の維持及び整備	
	生徒一人ひとりの良さや可能性を伸ばし、生徒の自己実現を図る。	・効果的な進路指導計画の作成と実践 ・進路指導関係資料のより一層の整備活用 ・組織的な指導体制の確立 ・部活動の活性化 ・特色ある生徒会行事の計画と実行	
	地域との連携により、地域・保護者から信頼され、愛される学校を目指す。	・人権・同和教育および男女平等教育推進のための研修の実施 ・情報の発信 ・PTA活動の活性化 ・交通安全教育の推進	
	全職員が一致協力して取り組む学校運営を推進する。	・共通理解と協力体制の推進 ・情報機器の操作技術向上	
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
本校の特色を生かした教育課程の編成・実施を工夫し、基礎学力の向上を図る。	生徒の実態に即した教育課程の編成	生徒の個性の伸長と進路希望の実現を図るため、系列(種類別科目群)を設ける。	
		生徒の多様な進路希望に対応するとともに興味・関心を充足させるため、多種の選択科目授業を設ける。	
	個性を生かせる教育課程の編成	きめ細かな教科指導を行うため、多展開や少人数授業を積極的に取り入れ、個に応じた授業を展開する。	

	学習指導体制の工夫、改善	生徒の授業態度、内容から職員全体の問題意識の統一を図り、指導方法の改善につなげる。		
		教育目標実現のための月間短期目標を設定し、生徒・教職員ともにその実現に努める。		
		遅刻者に対する指導を徹底し、チャイムと同時に授業を始められるなど、規律ある行動、学習習慣を身に付けさせる。		
	基礎学力の伸長、定着	基礎基本を重視した教科指導に努める。		
		年間の考査実施計画を作成し、効果的・効率的平常授業の充実を図る。		
	教科内研究活動の推進	生徒の情報交換を密にとるとともに、授業や考査、評価に関わる情報交換を行い、科内の連携を深める。		
規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図る。	基本的な生活習慣の確立のための指導の充実	挨拶の励行、礼儀作法と共に一人ひとりを大切にすることを身に付けさせ、いじめを見逃さない心を育てる。		
		本校生徒としての誇りと自覚を持たせ、校則を遵守するよう指導する。		
	健康管理・教育の充実	心身の健康生活実現のために、問題解決能力を育てる。		
		性について学年毎に講演会を実施し、適切な行動選択がとれる生徒の育成に努める。		
	防災・安全指導の徹底	避難体制を確立し、避難訓練等を実施するとともに、防災意識を高め、緊急事態に適切かつ迅速な行動がとれるよう指導する。		
		環境衛生の維持及び整備	校舎内外の清掃・美化等の計画を立て、その指導を通して、環境に対する意識の高揚を図る。	
	環境衛生検査を通して、維持、整備、改善に努める。			
生徒一人ひとりの良さや可能性を伸ばし、生徒の自己実現を図る。	効果的な進路指導計画の作成と実践	進路を意識した学習態度の早期育成と高揚に努める。		
		進学・就職のための補習や模擬試験の充実を図る。		
	進路指導関係資料のより一層の整備・活用	進路指導資料『路』の充実と活用を図る。		
		進路指導室・進路資料室・廊下掲示板等の整備・活用を図る。		
	組織的な指導体制の確立	進路指導部の持つ調査結果等のデータを公開し、より活用しやすい情報提供により、学年や教科との連携を深める。		
		業務内容や担当者を明確にし、相互支援体制を組んで指導に当たる。		

	部活動の活性化	活性化のために部活動の活動状況や成果を広く伝えるなど取り組みやすい環境づくりをする。			
	特色ある生徒会行事の計画と実行	生徒会行事について反省を踏まえ、内容の充実及び改善に努める。			
地域・保護者との連携を図り、信頼され愛される学校を目指す。	人権・同和教育および男女平等教育推進のための研修の実施	差別のない社会を実現するため、教職員の研修の充実を図る。 教職員研修の成果を生徒に還元する。			
	情報の発信	家庭通信の発行、ホームページの運営、研究・研修の成果の発表、体験入学の開催等を通して、学校と家庭・地域との連携を図るとともに情報を発信する。			
	P T A活動の活性化	P T A総会、学年P T A等の充実を図る。			
	交通安全教育の推進	警察、その他関係機関と連携し、交通安全講話やバイク実技講習会を実施するとともに、日常から交通安全指導に努める。 また、自転車乗車マナー指導（街頭指導）を行う。			
	全職員が一致協力して取り組む学校運営を推進する。	共通理解と協力体制の推進	部、学年、委員会の連携を密にし、生徒の状況や本校の課題について、職員全員の共通理解を図る。 各行事や学習指導、生徒指導、進路指導等について、職員全体の協力体制を推進する。		
	情報機器の操作技術向上	情報機器の操作技術向上のため、職員研修を行う。			
成果					総合評価